

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和元年度 第3回社会教育委員会議小委員会		
事務局 (担当課)	生涯学習部生涯学習課 電話042-769-8286(直通)		
開催日時	令和元年8月7日(水)午前10時~正午		
開催場所	相模原市役所 第2別館5階 教育委員会室		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)	
	その他	1人	
	事務局	5人(生涯学習課長他4人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 あいさつ 2 議題 (1) 研究調査「今後の地域コミュニティづくりにおける社会教育の役割」について ア 報告書案について イ その他 3 その他		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員、 は事務局の発言)

1 あいさつ

石川委員長のあいさつの後、石川委員長の進行により議事が進められた。

なお、報告書の作成に向けて、前副委員長である渡邊氏にオブザーバーとして小委員会に参加いただくこととした。

2 議 題

(1) 研究調査「今後の地域コミュニティづくりにおける社会教育の役割」について

ア 報告書案について

事務局から説明を行い、その後協議に入った。

主な意見等は次のとおり。

なお、報告書の表題については、今後、定例会において引き続き検討することとした。

自主性や主体性は、教育・学習の根幹であることから、全編を通してその考え方を取り入れていきたい。主体性がなければ、地域に目を向けることを期待するのは難しい。

第4章の提言を図示すれば、相模原市の社会教育はこうしていくという宣言になるのではないかと考えている。

提言のボリュームは多い方がいいと思う。全体としては、どのくらいのページ数を想定しているのか。

参考に、平成30年の中教審の答申は36ページ、前回の市社会教育委員会議の報告書は、41ページだが、資料などを除いた本編は12ページとなっており、同程度がいいのではないか。

ネットワーク型公民館の考え方は重要であるが、具体的な取組は公民館ごとで地域性などを考慮しながら検討する必要がある。

現在でも、公民館資料として紙ベースでの情報の取りまとめは行っている。また、相模原市は、各公民館が地域館であるため、地域の方への情報提供を優先しているところもある。

図書館の説明について、活動の場として読み聞かせ等ボランティア団体との連携による取組も行っていることを記載した方がよい。

相模原は、図書館では地域学習の資料が豊富であったり、博物館では地域の歴史が学ぶことができたりと、地域との関わりが強いことを記載したほうがよい。

報告書の作成に当たっては、社会教育委員が地域づくりに直接関わるのではなく、学習機会を呼びかけ、引き込むという取組の結果として地域コミュニティが活性化していくという観点でまとめていきたい。

社会教育は、学習を通じて人々が気づき、確かめるという条件を整えるのが役割の中心と考えており、報告書はその視点が明確になってきていると思う。合わせて読み手が読みやすくなるような配慮が必要である。

コミュニケーションとは人と人との交わりなので、難しく考えず、柔らかいものであっても

いいのではないか。

青年期は、エリアを越えて家庭や地域から飛び出していく時期であることから、もう一度地域と結び付けるといふ考え方とのバランスは難しい。例えば、商店街などの地元産業との連携による取組などは大変重要である。

子どもは、小さいころから地域で育てていくというのが重要で、家庭教育も重要だが、地域での教育は重要だし、大きく成長させる。

地域の力が弱まっていることに対して、行政や他の誰かに対応を期待するのではなく、主体性のある市民が意識を持ちながら、学習の中で考えていくことで地域コミュニティに変化が生まれるものとするが、誰かにやってもらうことに慣れている現状では、その考え方は通じにくい。

日ごろから地域と子どもとの触れ合いなど、顔見知りであれば済む話もあるので、あいさつをするなどの関係づくりが大事になってくる。

今回の報告書は、学習権という自分が学習し続けることが健康で幸福で社会を動かすという新たな視点を加えて、読み手の興味を引くようにしたい。

イ その他

特になし

3 その他

事務局より、次回小委員会の日程調整を行うとともに、次回定例会は9月10日(火)午前10時から開催する旨の説明を行った。

石川委員長のあいさつにより、会議を終了した。

以 上

令和元年度 第3回社会教育委員会議小委員会出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠
1	井上 一恵	相模原市立小学校長会		出席
2	藤嶋 直司	相模原市公民館連絡協議会	副委員長	出席
3	大橋 千景	虹のおはなし会		出席
4	石川 利江	学識経験者（桜美林大学教授）	委員長	出席
5	古矢 鉄矢	学識経験者（学校法人北里研究所参与）		出席
6	青木 智野	公募		出席
7	藤井 智	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク 常務理事		出席

出席者7名 欠席者0名